



第1回デジタル化推進検討懇談会

2025年05月22日 9時30分～12時
佐渡市役所本庁2階 会議室1-202



- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 議事
 - 1) 本日のスケジュールについて
 - 2) アイスブレイク
 - 3) 担当課ヒアリング
 - 4) その他（まとめ）
- 4 副座長あいさつ
- 5 閉会



2 座長あいさつ（座長）



3 議事

1) 本日のスケジュールについて

- ①～10時 アイスブレイク
- ②10時～ 担当課ヒアリング
 - ・ 10時～10時30分 生活環境課
 - ・ 10時30分～11時 総合政策課再工ネ推進室
 - ・ 11時～11時30分 財産管理課



3 議事

2) アイスブレイク



3 議事

3) 担当課ヒアリング

3 議事

1) 担当課ヒアリング（生活環境課）



【デジタル活用施策07】

ごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化

具体的取組項目

- ・ 5R活動参加促進を目指したごみ処理量の見える化
- ・ 脱炭素社会に向けたごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化



実現したい未来のイメージ04 ネイチャーポジティブな自然資源マネジメント

生物多様性を維持していくためのデータの蓄積、評価、自然資源の保全という流れを作り上げ、脱炭素社会にも寄与する資源のマネジメントを実現します。

令和5年

令和6年

令和7年

令和8年

令和9年

令和10年

令和11-13年

【デジタル活用施策06】

生物多様性と
持続可能な農業の
両立を目指した
農業DX

実証調査

生きものを育む農法の確認効率化とデータ活用

ドローンによる農薬・肥料散布の実用化

衛星データを活用した営農指導等

【デジタル活用施策07】

ごみ焼却に伴う
CO2排出量の
見える化



5R活動参加促進を目指したごみ処理量の見える化

脱炭素社会に向けたごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化



【デジタル活用施策07】ごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化による市民意識の啓蒙

具体的取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
5R活動参加促進を目指したごみ処理量の見える化	—	—	実現方法検討
脱炭素社会に向けたごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化	—	—	実現方法検討

取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の環境施設等で処理されるごみの量を見える化し、市民の日々のごみの減量に対する意識の啓蒙を図ります。 ● また、ごみ焼却等により排出されるCO2についても見える化し、ごみの減量によるCO2の抑制効果を周知することで、市民のごみ減量の取組へのさらなる参画を促します。
これまでの取組内容 (現状・経緯・課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 2022年、佐渡市は環境省が募集する「脱炭素先行地域」に選定されました。 ● 生活環境の整備については、これまでも市民と行政とが一体となって、ごみの分別の啓蒙活動や「レジ袋ゼロ運動」「3R（リデュース・リユース・リサイクル）活動推進モデル事業」等に取り組んできましたが、今後は脱炭素社会の実現を目指し、5R（3R＋リペア・リターン）活動の推進による更なるごみの減量及びCO2の排出量削減が求められています。 ● ごみの減量及びCO2の排出量の削減は、市民のより一層の取組が必要であり、市民への啓蒙の在り方が課題となります。
前年度からの改善点 今後の計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和6年度には生ごみコンポストの事業を開始します。このような市民の日々のごみ減量の取り組みが、どれだけ廃棄物処理量の削減に貢献しているか、またCO2排出量の削減に寄与しているかを見える化するため、令和7年度から実現方法を検討し、令和8年度の実装を目指します。



【デジタル活用施策07】ごみ焼却に伴うCO2排出量の見える化

			令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
重要業績 成果指数 KPI	① ごみ排出量見える化サイトのページビュー数（年間）	目標	-	-	-	3,000件	6,000件	10,000件	30,000件以上/年度
		実績	-	-					
		達成率	-	-					
	② CO2排出量見える化サイトのページビュー数（年間）	目標	-	-	-	3,000件	6,000件	10,000件	30,000件以上/年度
		実績	-	-					
		達成率	-	-					
		目標							
		実績							
		達成率							
		目標							
		実績							
		達成率							
備考									

3 議事

1) 担当課ヒアリング（総合政策課再エネ推進室）



【デジタル活用施策08】

主要防災拠点の自立・分散型エネルギーシステム導入

具体的取組項目

- ・ エネルギーマネジメントシステムの検討・整備
- ・ V2H設備導入
- ・ バーチャルパワープラント実現検討、システム導入、運用



実現したい未来のイメージ05 エネルギー循環の仕組み

再生可能エネルギーによる発電・蓄電、マイクログリッド等を統合し、仮想的な発電所として捉え、需要予測や供給とのバランスを最適制御することで、エネルギーを滞りなく届けます。災害時の停電にも強い島を実現します。

令和5年

令和6年

令和7年

令和8年

令和9年

令和10年

令和11-13年

【デジタル活用施策08】

主要防災拠点の
自立・分散型
エネルギーシステ
ム導入

エネルギーマネジメントシステム検討・実証・整備

エネルギーマネジメントシステム順次運用開始

【デジタル活用施策09】

V2Hを活用した
バーチャルパワ
ープラント実現

V2H*設備導入

*V2H : Vehicle to Homeの略で、EV (Electric Vehicle) (電動車) 等に搭載された電池から家庭 (Home) に電力を供給できる機能です。

VPP*実現検討、システム導入、運用

*VPP : Virtual Power Plant (仮想発電所) の略で、個別に存在している電源設備を統合的に制御する仕組みです。
災害対策や環境配慮の目的で導入した設備を有効活用し、電力の需要と供給のバランス調整に寄与することができます。



【デジタル活用施策08】主要防災拠点の自立・分散型エネルギーシステム導入

具体的取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
エネルギーマネジメントシステムの検討・整備	システム検討	システム検討・整備	システム実証・整備

取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内の主要防災拠点を中心に整備する太陽光発電等再生可能エネルギーと蓄電設備をもとに、電力使用量、発電量を一元的に把握・管理し、蓄電池の充放電の出力調整などを適切に制御するエネルギーマネジメントシステムを導入します。 ● これにより、ゼロカーボン化へ貢献します。
これまでの取組内容 (現状・経緯・課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ● シンボルとなる佐渡市役所本庁舎のZEB化、県振興局への太陽光発電導入、コミュニティセンター等の省エネ化を進めてきました。引き続き、防災拠点である行政サービスセンターや小学校等への太陽光発電等の導入を進めています。 ● 離れた複数拠点の発電量・蓄電量、予測や需要などを一元的に管理するシステムが求められており、これらを実現するエネルギーマネジメントシステムの導入を進めています。
前年度からの改善点 今後の計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 整備した太陽光発電設備と蓄電設備、及び今後整備する設備を踏まえ、導入するエネルギーマネジメントシステムについての検討を開始しました。 ● 令和6年度にエネルギーマネジメントシステムを具体化し、令和7年度に実証を行うための準備・計画を行う予定です。



【デジタル活用施策08】主要防災拠点の自立・分散型エネルギーシステム導入

			令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
重要業績 成果指数 KPI	① エネルギーマネジメントシステム整備（延べ）	目標	-	14拠点	15拠点	-	-	54拠点	-
		実績	-	18拠点					
		達成率	-	129%					
		目標							
		実績							
		達成率							
		目標							
		実績							
		達成率							
		目標							
		実績							
		達成率							
備考									



【デジタル活用施策09】V2Hを活用したバーチャルパワープラント実現

具体的取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
V2H設備導入	—	設備導入	設備導入
バーチャルパワープラント実現検討、システム導入、運用	—	—	実現方法検討

取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気自動車やプラグインハイブリッド車のバッテリーに貯めた電力を避難施設等で使用できるようにするV2H機器を整備します。 ● 市の防災拠点等の太陽光発電設備で発電した電力を充電し、災害等に停電が発生した電力途絶地の避難施設に移動しV2H機器を用いて給電することで、エネルギーの循環を実現します。 ● また、公用車等の電気自動車やプラグインハイブリッド車の充電状況を統合的に管理することでバーチャルパワープラントの実現を目指します。
これまでの取組内容 (現状・経緯・課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ● これまで、公用車として10台の電気自動車を導入しました。災害等において停電が発生した集落への電力供給が課題となっていますが、電気自動車を活用するためにはV2H機器の整備が必要となります。 ● また、分散して配備される電気自動車の充電状況等を統合的に管理することで、災害時等に停電発生集落への最適な配車が求められています。
前年度からの改善点 今後の計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 公用車における電気自動車の導入は、令和13年までに25台を計画しています。 ● 令和6年度から令和8年度までの3カ年でV2H設備を地域の公民館等9施設に整備する計画としています。 ● 令和7年度よりバーチャルパワープラントを実現するためのシステム検討を行う予定です。



【デジタル活用施策09】V2Hを活用したバーチャルパワープラント実現

			令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
重要業績 成果指数 KPI	① 公用車電気自動車の導入数（延べ）	目標	4台	7台	10台	13台	16台	19台	25台
		実績	10台	10台					
		達成率	250%	143%					
	② V2H整備拠点数（年間）	目標	-	3拠点	3拠点	3拠点	-	-	-
		実績	-	3拠点					
		達成率	-	100%					
		目標							
		実績							
		達成率							
		目標							
		実績							
		達成率							
備考									

3 議事

1) 担当課ヒアリング（財産管理課）

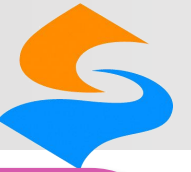


【デジタル活用施策27】

行政改革の推進及び持続可能な財政運営のためのデジタル活用

具体的取組項目

- ・ 公共施設管理システム導入、データに基づく適正化検討、マネジメント実行



実現したい未来のイメージ17 **イケてる行政 ～便利で身近で時代に即した頼れる市役所～**

デジタル技術を駆使し、庁内事務業務の効率化・高度化を実現し、行政サービスの質の向上を図ります。遠隔での行政手続きや移動型市役所等も浸透させることで、コンパクトでありながら市民に身近な行政であり続けます。

令和5年 令和6年 令和7年 令和8年 令和9年 令和10年 令和11-13年

【デジタル活用施策26】

行政事務業務の 効率化・高度化

庁内コミュニケーション
基盤の整備・刷新

基幹業務システム標準化
・ガバメントクラウド対応

汎用電子申請システムを使用した行政手続きのオンライン化の拡大

窓口システム「書かない窓口」の導入・拡大

【デジタル活用施策27】

行政改革の推進及び持 続可能な財政運営のため のデジタル活用

データ蓄積・コラボレーションの円滑化
(ノーコード・ローコード基盤、AI-OCR、RPA)

公共施設管理システム導入、データに基づく適正化検討、マネジメント実行

【デジタル活用施策28】

デジタル人材 育成・確保

「デジタルリーダー制度」の開始、継続・拡大

「デジタル人材育成・確保計画」の策定、「デジタル人材研修プログラム」の拡充・受講推進





【デジタル活用施策27】 行政改革の推進及び持続可能な財政運営のためのデジタル活用

具体的取組項目	令和5年	令和6年	令和7年
データ蓄積・コラボレーションの円滑化 (ノーコード・ローコード基盤、AI-OCR、RPA)	調査検討	ノーコード・ローコード基盤 試行	ノーコード/ローコード基盤 本格導入
公共施設管理システム導入、データに基づく適正化検討、マネジメント実行	-	調査検討	システム導入

取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 市役所の庁内事務において、紙や手作業、エクセル等で行われている業務をWEBアプリケーション化することで、効率化・高度化を実現するとともに、政策立案や事業推進への活用が可能なデータとして蓄積することで、職員間・組織間のコラボレーションの円滑化を図ります。 ● プログラミング等の専門的な知識を不要とし、職員自身による業務アプリ実装が可能な環境を導入し、各業務で取り扱うデータの蓄積や共有化を促進する仕組みを浸透させ、行政改革の推進及び持続可能な財政運営に資する取組を実行します。
これまでの取組内容 (現状・経緯・課題等)	<ul style="list-style-type: none"> ● 庁内事務においては、紙やエクセル、手作業による情報の照会や集計、台帳管理等の事務が数多く存在しています。これらの事務は、工数や無駄な作業を削減すると同時に、情報をデータとして蓄積し庁内で共有する必要性が求められています。 ● 市内に約1,000ある公共施設に関しては、今後の適正化・マネジメントを行う上で、修繕履歴の管理・照会が煩雑になっており、施設のマネジメント部門と所管部門においてデータを共有できる公共施設管理システムの整備が必要となります。
前年度からの改善点 今後の計画及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和5年度に、庁内事務におけるノーコード・ローコード基盤の適用を調査検討しました。他市の事例等も参考に、令和6年度にノーコード・ローコード基盤を試行的に導入し、一部業務において実践的に業務アプリケーションを作成します。また、公共施設管理システムについても、コストと導入効果の観点も踏まえながら実現方法の調査検討を行います。



【デジタル活用施策27】 行政改革の推進及び持続可能な財政運営のためのデジタル活用

			令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11-13年
重要業績 成果指数 KPI	① ノーコード・ローコード基盤活用による業務アプリケーション数	目標	-	1	10	20	30	40	50以上/年度
		結果	-	20					
		達成率	-	2,000%					
	② 公共施設管理システムでの管理施設棟数（累積）	目標	-	-	100	400	1,300	1,300	1,700以上/年度
		結果	-	9棟					
		達成率	-	-					
		目標							
		結果							
		達成率							
		目標							
結果									
達成率									
備考									



3 議事

4) その他 (まとめ)



4 副座長あいさつ（副座長）

5 閉会





<https://www.city.sado.niigata.jp/>